



2023年7月20日
四国旅客鉄道株式会社
鉄道博物館

「瀬戸大橋線開業 35 周年展 ～瀬戸大橋線を彩った車両たち～」の開催について

- 四国旅客鉄道株式会社（以下、JR 四国）と鉄道博物館は、2023 年 4 月 10 日に瀬戸大橋線が開業 35 周年を迎えたことを記念し、鉄道博物館において、「瀬戸大橋線開業 35 周年展 ～瀬戸大橋線を彩った車両たち～」を期間限定で実施します。
- 開業以来、瀬戸大橋線を彩ってきた様々な列車や車両のヘッドマークや模型などを展示します。
- JR 四国と鉄道博物館の初のコラボ企画ですので、ぜひお越しください。

1 展示概要

瀬戸大橋線が開業して 35 年の間に駆け抜けた、季節限定の臨時列車やわずか数日しか走らなかった列車で使用したヘッドマークや瀬戸大橋線の代表的な車両の模型を写真とともに展示します。また、瀬戸大橋関連の記念きっぷやオレンジカードなどもご紹介しますのでお楽しみください。

2 展示期間等

展示期間：2023 年 7 月 25 日(火)～9 月 18 日(月・祝)

展示場所：本館 2 F 鉄道車両年表エリア

3 主な展示品



「本四備讃線試験運転」ヘッドマーク



「海走 SL 瀬戸大橋号」ヘッドマーク



「瀬戸大橋トロッコ」ヘッドマーク



快速「マリンライナー」5000 系模型
(長さ 170cm にわたる大型の模型)

4 その他

展示品は変更になる場合がございます。

展示のほか、関連イベントを予定しています。詳細は決まり次第お知らせいたします。

5 参考

(1) 瀬戸大橋線が開業してから瀬戸大橋を走った列車の紹介

これまで瀬戸大橋線を走行した一部の列車をご紹介します。



▪ 海走 SL 瀬戸大橋号

瀬戸大橋線開業 10 周年を記念し、1998 年に瀬戸大橋を渡って香川県の多度津駅～岡山県の茶屋町駅間を走りました。営業列車として SL が瀬戸大橋を走ったのはこの列車が初めてです。実際に使用されたヘッドマークを展示します。



▪ 瀬戸大橋トロッコ

瀬戸大橋線開業 15 周年を記念し、2003 年から 2006 年までの間、窓のないトロッコ車両をつないで運転されました。実際に使用されたヘッドマークを展示します。



▪ 快速マリンライナー（5000系）

2003 年に香川県の高松駅と岡山県の岡山駅を結ぶ、快速「マリンライナー」の車両として、先頭に 2 階建て車両が導入されました。この 2 階建て車両の模型を展示します。

(2) 瀬戸大橋線に関連するその他の情報

JR 四国では瀬戸大橋線開業 35 周年を記念し、様々なキャンペーンを実施しています。詳しくはキャンペーンホームページ (https://www.jr-eki.com/seto-ohashi_line_35th/index.html) をご覧ください。

鉄道博物館では南館 3 階歴史ステーションにて、瀬戸大橋線開業初日に寝台特急「瀬戸」に取り付けられたヘッドマークを常設展示していますので、併せてご覧ください。